

どんな活動をしているのか
ちよつとのぞいてみましょう。
あなたも地域サポーターに
登録し、活動しませんか？

ぬくもりの輪が街に広がっています！

地域ぬくもりサポート事業



知的障がいがあり、一人暮らしをしている 60 代の女性 S さん、いつも家

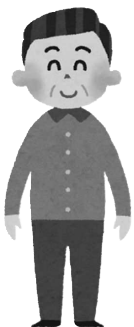
に一人きりでいることが多く、寂しいので、話し相手を紹介してほしいと依頼をいただきました。

近所に住む同世代の女性、サポーターの T さんに訪問してもらい、毎回 1～2 時間、いっしょに過ごしています。すっかり仲良しになって、手芸が得意な S さんが T さんに編み物を教えてあげているそうです。



視覚障がいがある 30 代女性の S さんは二人の子を持つお母さん。週 1 回、定年退職をした 60 代の男性サポーターの Y さんがお子さん二人の保育園の迎えを手伝ってくれています。子どもが大好きな Y さん、家まで二人を送り届けた後、いっしょに絵本を読んだり、字を書く練習をしたり…

「まだ孫がないのだけれど、一足早く、孫ができたみたいだよ」と笑顔で話してくれました。



障がいのある方や
発達に心配のあるお子さんを
地域全体でサポートしていく
地域住民による
有償ボランティアです。

股関節に障がいがあり、かがむことや重い荷物を持つのが苦手



な 70 代の女性 A さん、介護保険の要介護認定を受けていますが、まだホームヘルパーを利用したくないと、依頼をいただきました。

専業主婦の 30 代、サポーターの N さんが週一回訪問し、いっしょに近所のスーパーまで買い物に行ったり、部屋の掃除を手伝ってもらったり…話し好きの A さんとお年寄りの話を聞くのが好きという N さん、二人の間にはいつも

笑い絶えません。A さんは毎回 N さんが来てくれるのを楽しみにしているそうです。





重症心身障がいがある7歳のYくん。時々てんかんの症状があり、お母さんはYくんのそばを離れられません。身の回りのことをする余裕がないため、家のまわりの除雪を手伝ってほしいとお母さんから依頼をいただきました。

生活介護事業所の知的障がいがある利用者さんたちがスタッフと一緒にYくんのお宅を訪問し、定期的に除雪を行っています。夏は庭の除草、水やりのお手伝いを行っており、利用者さんたちも人の役に立っていることにやりがいを感じています。



札幌に引っ越してきた精神障がいがある50代の男性Mさんは自分で引越の荷物を片付けられずにいました。6畳の部屋に段ボール箱が山積みで窓が見えないほど。50代の女性、サポーターのTさんに荷物整理を手伝っていただきました。段ボール箱を開いて、必要なものとゴミに出すものを分けて行きます。

2日間かかって片付けが終わり、ゴミ袋の山にMさんもびっくり。「すごいゴミの量だなあ…」



地域ぬくもりサポート事業
イメージキャラクター

視覚障がいがある20代の女性Kさん、毎日通っている事業所への送迎をご両親が行っていますが、ご両親とも仕事をしており、迎えに行けな

い時はタクシーに頼らざるを得ません。60代の女性、サポーターのKさんが週一回、ご両親に代わって事業所へ迎えに行き、自宅までの30分ほどの道のりをいっしょに歩いて帰ってきています。サポーターのKさん、「自分の健康づくりにもなり、一石二鳥だわ」と話してくれました。



●お問い合わせ先●

地域ぬくもりサポートセンター

【中央区・豊平区・清田区・南区】

札幌市中央区南9条西13丁目1-40

社会福祉法人あむ

電話/FAX 011-206-6511

【北区・西区・手稲区】

札幌市西区二十四軒4条6丁目3-2

社会福祉法人HOP

電話 011-632-7076

FAX 011-632-7066

【東区・白石区・厚別区】

札幌市厚別区厚別中央1条3丁目1-17-101

特定非営利活動法人わーかーびー

電話/FAX 011-895-8010